

令和3年度第1回移動教育委員会 懇談会発言要旨
(浜松みをつくし特別支援学校)

開催日時：令和3年6月21日（月）13：20～15：10

場所：浜松みをつくし特別支援学校

参加者：浜松みをつくし特別支援学校職員、静岡県教育委員

1 学校概要説明及び取組

- ・令和3年4月開校（旧気賀高等学校の跡地に新改築）
 - ・全校児童175人（小学部84人、中学部67人、高等部24人）常勤職員90人
- [教育目標] 共に学び、共に育ち、共に夢をつかむ

[施設の概要]

- (1) 施設面積 34,754 m²
特別支援学校の敷地基準面積18,000 m²の約2倍
- (2) 運動場面積 10,800 m²
国が提案している設置基準 3,600 m²の3倍
- (3) 体育館面積 1,494 m²
特別支援学校の敷地基準面積550 m²の約3倍

利点

- ・教室の数にゆとりがあり学部ごとの食堂があるため、生活年齢に即した指導が可能
- ・運動場や体育館が広いため、学年間の調整がしやすい
- ・階段や出口が多く、避難経路の選択肢が多い

課題

- ・広さによる物品の不足、移動時間がかかること
- ・環境整備等の維持費増大
- ・階段や出口が多いことで、児童生徒の安全確保が困難

[学校連絡・情報共有サービス「COC00」導入に伴う校務の効率化]

利点

- ・保護者からの簡易な連絡の減少に伴う電話の取次ぎに要する時間減少
- ・出欠席等の連絡ミスの減少
- ・紙による配布物及びアンケート等の回収の減少
(アンケート集約の時間削減)
- ・児童生徒の健康状態が把握しやすい

2 授業見学等（全学年）

- ・学校連絡・情報共有サービス「COC00」導入に伴う校務効率化
- ・既存施設の有効活用 等

3 懇談会

[学校連絡・情報共有サービス「COC00」について]

県教育委員

COC00 の導入方法やスタート時の困りごとなどあれば教えていただきたい。

浜松みをつくし

本校は全員が転入学であるため、必要な場合は保護者の画面を見ながら、教職員が登録をサポートした。また、校長からも「保護者のみなさまの多忙化解消につながる」「参観会等の諸連絡が必ず届く」など COC00 の導入のメリットを説明した。

通信機器等を持っていない方への個別対応もあったが、4月中にはほとんどの保護者が登録した。

県教育委員

COC00 とは別に ICT 機器を使用しているか。生徒の特性に応じて ICT の活用が必要ではないか。

浜松みをつくし

小中学部にタブレットはあるが、学習活動に導入ができていないのが現状である。

児童生徒によってはタブレット等を利用することで、多様な個性を引き出せることが予想されるので、ICT 機器を導入を進めていきたい。

本校は、開校直後で、教職員・児童生徒とも全員が転入学のような状況にあるため、学校全体の統一的な取組は道半ばである。まずは、学区の都合で転校せざるをえなかった児童生徒・保護者に、「転校してよかった」を思われるよう、家庭・地域とともに歩む学校づくりを目指している。

子供たちは大人以上に周りをよく見て気付くことがあるため、子供を含めみんなで学校づくりをしていきたい。

県教育委員会事務局

COC00 はパソコンのみで利用しているのか。

浜松みをつくし

全職員に貸与されているパソコンを利用して使っている。

[外国籍児童生徒の対応について]

県教育委員会事務局

外国籍の児童生徒は何人在籍しているか。
また、日本語での指導の対応はどのようにしているか。

浜松みをつくし

10 数名在籍している。
ボディランゲージや英語、前学校の引継書を活用し、児童生徒が理解可能な言葉を用いて、個別に対応している。

県教育委員会事務局

児童生徒が日本語を身に付けることは困難か。

浜松みをつくし

家庭でどの言語を利用しているかで大きく左右される。

県教育委員

日本語指導員は必要か。日本語指導兼特別支援教育の専門家はいるか。

浜松みをつくし

どのレベルの日本語を身につけたいかは、家庭の方針によるところが大きい。
保護者と相談しながら必要があれば活用したい。
専門家はいない。知的障害の児童生徒は繰り返し教えることが大事である。
ごく稀に特別支援学校をよく理解しないまま入学する外国籍の方々もいる。

県教育委員

外国の文化的背景がわかり、コミュニケーション能力の高い支援員が必要であると考える。

[その他]

県教育委員会事務局

実習先や就職先の新規開拓はどのようにおこなっているか。

浜松みをつくし

進路課長が地域の企業に挨拶に出向いている。
北区周辺で協力したいと申し出た企業があった。

県教育委員

学校サポーターとして地域の方々と学校だけではなく、保護者もつなげていくとよい。地域の方々も学校から発信してもらえれば、学校の敷居が下がる。

浜松みをつくし

学校からの一方通行の情報発信とならないよう注意したい。

県教育委員

非常時の連絡方法や体制について教えてほしい。

浜松みをつくし

緊急時や救急車等の判断・対応については、「心配ならば呼ぶ」という体制が教員間の共通認識である。

学校の敷地が広く、児童生徒も多いため、管理職・部主事・学年主任・課長・養護教諭については無線機を常時携帯し、日々対応している。

[要望等]

本校は施設開放等地域に開かれた学校であるが、樹木の伐採に制限がある。

また、予算の都合でグラウンドの雑木の伐採ができないことや、グラウンドの砂塵による問題等で地域の方々からご意見をいただくことがある。環境整備に必要な予算をいただきたい。